

2020年春期語学研修プログラム レポート



情報科学部コンピュータ科学科 2年

国：フィリピン

研修先：SMEAG

○語学研修による効果と成果

私はフィリピンセブ島のSMEAG校にて、2/17～3/13の約1ヶ月間、語学研修に参加しました。当初は英語の語学力の修練を目的としていましたが、その上で、フィリピンの地で様々な国からやってきた外国の学生と共に学習することで、様々な国際感覚を身につけ、自主自立の生活意識を得るなど、期待以上の体験をすることができました。また、母語でない言語を話すことへの恐怖心や抵抗感を減らす特訓として、非常に有効でした。

○語学を学ぶにあたって必要なもの

語学研修に参加して、語学を学ぶにあたって最も重要なのは、英語で積極的にコミュニケーションをとる意欲だと考えるようになりました。参加前の私は「フィリピンというのは行って過ごすだけで英語が身に付く夢と魔法の国」という認識でした。しかし、実際は「英語圏の世界で一人浮かないように必死で喰らいつく修羅の国」でした。語学学校にはフィリピン人のスタッフだけでなく、中国、韓国、台湾、オマーン、その他さまざまな国から学生が来ており、交流も活発です。その中でコミュニケーションをとるには十分な語彙と発音する練習が必要です。学んだ文脈（センテンス）や語彙は忘れないうちに会話で積極的に用いました。言葉は使わないと忘れてしまうからです。もし会話の途中で、私が知らない単語を聞けば、その度にスマートフォンアプリの辞書で調べ、学習していきました。このような英語でのコミュニケーションをとるには多大な労力がかかりますが、コミュニケーションをとるには他には方法が無い訳ですので、まさに特訓にふさわしい環境だと感じました。

○語学学習への意識の変化

英語を学ぶ一番の理由はコミュニケーションです。英語を話す英語で読み取り、自分の意思を伝えることです。現地の学校での話ですが、私は少人数クラスにてほぼ同年齢の韓国人と台湾人のクラスメイトになりました。当初彼らとの会話は英語によるものでしたが、1週間程度経った頃から、お互いの言語を話し合うようになったことがあります。内容はあいさつや代表的な文化の発音、スラングなどででした。私は、これらはお互いについてさらに知ろうとする、コミュニケーションの現れだと思います。お互いに中間言語の英語を挟むより、直接相手の言葉を聞いたほうが楽だったのかもしれませんが、以降、私は英語を学習するときは、このコミュニケーションをとるために英語を学習するという目的意識をはっきりさせるようになりました。これは、今後英語のみならず他の言語を習得するためにも、必要な意識だと考えています。